

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	手洗い・消毒の励行	帰館時、おやつ、昼食前、トイレ後、公園遊びなど節目節目に、手洗い消毒の励行をし感染症の予防に努める。ハンカチ持参のよびかけや、ペーパーの設置を行う。ハンカチを持ってきていない子や、石鹸を使っていない子などがいるので、感染症予防の為に引き続き声掛けを継続していく。
		クラス単位による運営	縦割りのクラス毎に、一日交代で1階の育成室と2階の遊戯室とに分けて生活を行った。帰館時間の違いから、同学年で過ごせる曜日を設定するなどの工夫を行う事で、クラス以外の同学年との交流につながった。お帰りの会などはクラス単位で行う事で落ち着いた雰囲気でも過ごすことができていた。行事などもクラス単位で行うことで、所属意識が生まれ年間を通して落ち着いて生活できていた。
		座席の固定化	おやつやお帰りの会の際、座席を固定し自分の席を決めることで子どもたちの生活への安定に繋がった。
		挨拶	登館帰館したら玄関で挨拶するように指導している。自発的に挨拶ができる子もいるが、声掛けをしないとできていない子もいるので、気持ちよく挨拶ができるよう引き続き伝えていく。生活の中での「ありがとう」や「ごめんね」などの言葉でのコミュニケーションの大切さも都度伝えていく必要がある。
		学校へのお迎え お帰りグループの確立（地域別引率）	小学校が地域別に子どもたちを送る期間、職員が1年生を小学校へお迎えに行き、館までの登館経路や注意する場所等を一緒に確認する。児童館から自宅への帰りも1週間程度、地域別に職員が付き添い、経路や安全に配慮が必要な点を確認しながら帰った。お帰りグループでのトラブルがあった時などは、保護者や小学校とも連携し、子どもたち同士に合いをしながら安全に帰る事ができるよう話し合った。子どもたち同士のみになってしまうので、可能な限り保護者の方や地域の方への見守りの協力をお願いする。
		ICTの活用 出欠確認	欠席や早退、帰り方の変更の連絡などICTを通して保護者の方と連絡を図ることができた。また、行事などのアンケートをICTで取ったり、毎月のおたよりや月ごとの子どもたちの様子を写真等をICTにて送付した。しかし、帰館直前の欠席連絡をICTでされる等の課題もあるので、保護者の方と連携し子どもたちの所在確認がスムーズにできるようにしていきたい。
		おやつ提供 昼食指導	アレルギーのある子へは違うおやつに変更するなど配慮、対応した。学年で帰館時間が大幅に異なる日は、早く帰って来た学年の子のおやつ時間を早くしたり、高学年は帰って来た子から食べ始め、その後宿題や自由あそびをする時間とした。また、少しでも楽しい時間を過ごせるよう、本や紙芝居の読み聞かせを行うなどの工夫を行った。おなかやすめの時間には、音楽を流すことで情緒の安定に繋がった。おやつのリクエストがあれば、その声を拾って注文することもあった。来年度は、近くの子とも同士で向き合っ食べるなど、より楽しい雰囲気でも過ごすことができるように、取り組んでいきたい。
	健康の管理・情緒の安定	宿題 学習指導	土曜日や小学校の長期休業中は1時間ほど学習に取り組む時間を設けた。平日など、いつ宿題に取り組むかスケジュールを組み立てる力もついてきている。自分で本読みやぬりえ等を行うことができる子もいたが、苦手な子は職員がつくこともあった。自分で取り組み、過ごすことができる力をつけられるよう声掛けや寄り添いが必要。
		毎月の目標設定	毎月の目標をクラスごとにみんなで相談して決めて実行できるようにした。分かりやすい目標を立てたり工夫したが、みんなが実行できるように、常々意識していきたい。来年も継続して行っていきたい。
		当番活動(おやつ)	おやつや昼食時、各学年1人ずつ当番として机の消毒やおやつ配膳等をしてもらうことで、子どもたちの持てる力を身近なところで発揮する場となった。一人ひとりが役割を持つことで所属意識を認識する機会となった。子どもたちは、当番表を確認するなどして当番活動を意識して生活している。また縦割りで行う事で、上の学年のリーダーシップへの意識づけも行うことができた。来年度はおやつのみならず、他の場面でも当番活動を活用する機会を設ければよい。
		お帰りの会	職員がお帰りの会の進行を行い、予定の確認や注意事項を話した。子どもたちが頑張ったことを伝えたりするなどして自己肯定感を高められるよう工夫した。また、上の学年の子どもがクイズをするなど子どもたちが活躍できる事も設ける事ができた。職員もお帰りの会の進行を交代で行うことで、多面的に子どもたちに関わることができた。
		お片付け時の音楽	お片付けの時に音楽を鳴らすことによって、子どもたち自身が見通しを持って、お片付けをすることができた。
		おもちゃアンケート	児童館にほしいおもちゃや本などのアンケートを実施した。子どもたちの意見を反映することができ、子どもたちの喜びに繋がった。またアンケートを基に、子どもたちでどのおもちゃから購入していくかなど話し合いをする機会を設けた。
		環境整備	おもちゃの整備や、2階の図書室と遊戯室の段差を無くしたり環境整備を整えた。環境がよくする事で、職員や子どもたち、利用者が安心して児童館で過ごすことができていた。
生活体験の拡大	館内ツアー	新入会生を対象に、児童館の部屋をツアー形式で紹介し説明を行った。トイレの使い方など実際に一緒にみて説明を行った。	
	入会式	職員と新入会生親子で簡単な式典を行い新入会生を歓迎した。入学式後速やかに集合してもらえたため、短時間で終えることが出来た。これまで入学式直後に行っているため、新入会生親子への負担や人数の増加を考慮し、来年度以降は子どもを対象とした新入生歓迎会に統一していく。	
	新入会生歓迎	新入会生に名前、好きな食べ物、将来の夢を一人ずつ話してもらった。新入会生は緊張しながらしっかり話することができていた。在館生も興味を持って新入会生の話聞くことができ、短時間で集中して行えたので良かった。	
	お誕生会	毎月1回その月のお誕生日の子どもたちをクラス毎でお祝した。好きなおやつ等簡単なクイズ形式で紹介を行ったので楽しい雰囲気で行うことができた。毎月のお誕生会の子ども紹介ポスターも有志で自主的に子どもたちが可愛いイラストなど描いてくれたので良かった。	

子ども育成機能	社会性の養成	みんなあそび	年に5回設定し、クラス単位で交流を深める機会となった。各職員が企画を担当し、クラス毎の交流や、全体での交流に繋がった。
		3年生以上会議	3年生以上を対象に生活に慣れてきた5月ごろに開催し、全員で目標を決定した。上級生として学童クラブの生活の中で目標を設定し、部屋に張り出した。後期にもう一回程度振り返る機会などを持ってよかった。
		夏のおたのしみ会実行委員会	夏のおたのしみ会に向けて、3年生以上に実行委員を募りあそびコーナーの企画や準備、当日運営を行ってもらった。
		こどもマーケット当番	3年生がこどもマーケットのお店番を担当してもらった。準備の段階から最後まで意識を高く持って楽しく取り組んでくれた。
		バラエティおやつデー	毎月1回好きなおやつを選ぶことができる。子どもたちの自分で選択し決定する力を大切にできる機会となった。
		七夕の取組	年に一度の季節を感じる事の出来る行事で良かった。毎年老人会の方が笹をプレゼントして下さり、地域の方との交流にも繋がっている。子どもたちの書いた短冊を玄関に飾ることで、保護者の方にも見てもらうことができた。来年度も継続していきたい。毎年年度末に返却していたが、都度返却することにした。
		おりがみ教室	桂徳児童館と嵯峨野児童館とZoomを繋いで桂徳児童館の子どもに折り紙を教えもらい、一緒に折り紙を楽しんだ。
	自立の促進と自主性の尊重	だいごっこ絵画展「絵をかこう」	だいごっこ絵画展に向けて希望する子が大きな画用紙にコンテなどを使って自由な絵を描いた。今年度は絵具は使わずに、コンテや色鉛筆等で最後まで丁寧に仕上げることができ、達成感に繋がった。土曜日に少しずつ行う事で集中力を保ちながら取組むことができていた。
		2館交流事業	同じ法人の辰巳児童館と年2回行う。ゲーム遊びで遊んだりドッジボール大会を行った。自分の児童館以外の子どもたちと交流をしたので緊張している子もいたが、子どもたちにとってもいい刺激となり、意欲に繋がった。
		げんさん家にプレゼント作り	子どもたちがげんさん家の皆さんに渡すハロウィンの飾りを作った。今年度はメッセージや作っている様子の写真もつけたのでより一層楽しく見てもらうことができた。多くの子が積極的に頑張って作ってくれた。
		げんさん家にプレゼント渡し	職員が学童クラブ児童と一緒に同じ地域のデイサービス「げんさんち」に出向いてプレゼントした。毎年子どもたちの作る飾りを楽しみにしてくださっている。これからも継続したい。
		クリスマス実行委員会	3年生以上で実行委員を募集し、当日までの準備や当日の司会進行、紙芝居を読んでくれてクリスマス会を盛り上げてくれた。実行委員も達成感を感じることができていた。
		けん玉を覚えてもらおう！	高野児童館のけん玉名人の上木先生をお招きして、けん玉の基本から教えてもらった。けん玉を使った導入の遊びや色々な種類のけん玉に子どもたちも喜んでた。苦手意識を持っていた子どもも参加してから、けん玉も楽しく練習している姿が見られた。
		絵付け体験	京都陶磁器共同組合の方々にご指導いただき、湯呑の絵付け体験を行った。子どもたちの社会体験が広がる機会となり、出来上がりを楽しみに待ち、出来上がった後も喜んでた。来年も機会があれば来ていただき、子どもたちの社会体験へ繋がりたい。
		げんさんちとの交流	コロナ禍以降初めての交流となった。けん玉ダンスを発表したり、グループでゲームをすることでお年寄りの方や施設の職員の方と交流することができた。子どもたちが思いやりをもってお年寄りに接することができ、またお年寄りも子どもたちと楽しく接しておられとても良い世代間交流となった。来年度以降も年間を通じて交流を深めていきたい。
醍醐のまち・醍醐ステージ発表	土曜日登録の子どもたちを対象に、福祉のまち醍醐・交流大会ステージに向けてけん玉ダンスを練習し、醍醐福祉交流会館のステージで発表した。大きな舞台での発表は、子どもたちの自信につながった。		
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供 と交換	学童クラブおたのしみ会	年度末、今年度の学童クラブのメンバー全員で楽しく過ごしたおたのしみ会を行った。退会者の紹介、1年間の思い出動画の上映など子どもたちも楽しみながら、1年間を振り返り、退会するメンバーを送り出すことができた。3年生以上の有志の子どもたちが司会や準備を行うなど活躍する場となった。また有志で発表する機会を設けたので、ダンスやクイズなど子どもたちの活躍する機会となった。
		クッキーコンサートおでかけ	地域にある春日野園までクッキーズのコンサートを観に行った。身近に音楽に触れるよい機会となった。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供 と交換	登録申請説明会	新入会世帯は登録申請についての登録申請説明会を行った。特に大きく混乱することもなくなくICTでの申請を行っていたことができた。
		入会説明会	新入会生世帯を対象に児童館のしおりに沿って入会説明会を行った。その場で「さくらdays」をインストールしていただき、さくらdaysの基本的な使い方(メッセージ機能や出欠確認等々)の説明を行った。TVの画面に大きくさくらdaysの画面を映しながら説明したことで説明がわかりやすかったのではないかと。また、一年間の学童クラブの様子をムービーで流して視覚的に伝えることができた。
		入会説明(個別)	入会説明会後に申請された世帯に対して、個別に入会説明を行う。
		登録申請説明(個別)	登録申請説明会後に来館された家庭に対し、登録申請について説明をする。
		小学校担任との懇談	子どもたちの様子を共有するため担任の先生との懇談を行った。児童館での様子とまた違う子どもたちの様子を知ることができ、児童館での様子も伝えることができたのでよかった。今年度は春日野小学校からも子どもが来ているので、春日野小学校の担任の先生とも話をする事ができた。
		保護者懇談会	新入会世帯を対象に、7月に保育懇談会を実施した。長期休業中の過ごし方や、子どもたちの様子についてお伝えすることができた。短冊を飾ったり動画をみてもらったりして子どもたちの様子も見てもらえる機会となった。
		お弁当いらないデー	今年度は年4回行った。子ども達はいつものお弁当と違い、みんなで同じものを共に食べる昼食時間を喜んでた。保護者にとっても、お弁当づくりの負担軽減につながり、大変好評だった。
		夏のおたのしみ会保護者参加	事前に保護者にお手伝いのお願いをしており、お手伝い参加の意思を示されている保護者も多くいたが、当日台風の影響にて延期となりお手伝いは中止とさせてもらった。来年度は実施し、参加してもらいたい。

子育ての仲間づくり	個人懇談	12月に希望制の個人懇談会を行った。1年生や集団帰りの家庭も希望が多く、普段話す機会の少ない保護者の方も落ち着いて子どもたちの様子や気になることについて話をすることができた。来年度も継続して実施していきたい。学童ではみせない子どもたちの様子も知ることができた。
	誕生院保育園引継ぎ	誕生院保育園出身の1年生を対象に、担任の先生から引継ぎを行い連携を図った。
	つくし保育園との引継ぎ	つくし保育園出身の1年生を対象に、担任の先生から引継ぎを行い連携を図った。
子育てを支えるネットワーク形成		